

二力の会

「私たち、難波で生きて、難波で最期を迎えるのだから、心ゆくまで難波を楽しもう！」

難波の女性陣が、笑って過ごせる楽しい場をつくりました。

「これからも生きていく難波の地を楽しみ尽くそう！」
そんな気持ちでスタートした二力の会。お花見やハイキング、竹箸づくり…。そのあとは、生活センターに戻って、持ち寄った一品料理でランチタイム♪

「ここで生きていくって決めたから！」
「最期まで難波で！」 **自分が選んだ場所で力強く生きていく姿**を見ることができました。
難波女子のステキな笑顔が満開でした！
(※1)



秋の笠倉山へGO!



春ですね 難波分校跡地でお花見♪



歌喜うきサロン

「将来、友達とお話できる所がほしいと
思ったの。そんなサロンにしたい！」

杜の丘1丁目では、会館を会場にして、歌喜うきサロンが始まりました！
住民さんが特技の詩吟を披露してくださり、「ステキだ！」「もう1曲聞きたい！」とアンコールが起こるほどです！**“自分たちの手で作り上げるサロン活動”**が表れていますね。「自分が『来たい！』と思える場所をつくる」という想いが、すでに実現しつつありました！始めは見ず知らずの関係でしたが、回を重ねる事に自然とおしゃべりができる関係になっていく…
そんなステキなサロンでした♪ (※3)



詩吟：お腹の底から響く声に感動！

「いろんな声が聴ける場を！」

杜の丘2丁目では、「杜ヒルサロン」が誕生しました！なんだかオシャレな雰囲気です。

LINEでサロンの様子を知って、入院先から「早く行きたいわ」と連絡をくれる方、「この地でお友だちが作れたら嬉しい」と話す方もいて、期待の声が多くあるそうです。

仕事を引退して、老後を過ごす場所として大和町を選んだ皆さん。年齢に関係なく、「自分たちの生活・暮らしをもっと良くしたい！」という想いは共通です。

今後の希望や想いをみんながワイワイガヤガヤ、対話していました！
(※2)



手づくりお漬物を食べながら、ワイワイ！

杜ヒルサロン

「いつ来て、いつ帰ってもいい！ 誰でも気軽にどうぞ！」

吉岡・中町にお茶飲みの場が誕生しました。その名も「中町お茶っこのみ会」。「そこに行けば、誰かがいておしゃべりできる」をテーマに、“いつ来て、いつ帰ってもいい”気軽に集まれるお茶飲みの場です。開催は毎月15日と決めて、お金も不要。ざっくばらんにおしゃべりを楽しむことができますね！

さすが、**長年のお付き合い**で育んだ温かい雰囲気です♪「これから、もっとたくさんの人に広がっていくといいな！」ということでした！ (※4)



中町に嫁に来てから、何十年のお付き合い！
一緒に過ごした年月がお互いの信頼関係を作っています！

中町お茶っこのみ会